



沖縄県国頭村

# 議会たより

題字・辺土名小学校5年 あさと 安里 らいと 輝道



令和6年3月8日発行

第 **132** 号

国頭中学校環境整備について

ふるさと納税について

エコスポレク公園内に居場所づくりを

農業振興整備計画の見直し

境町視察研修から考える国頭村の可能性

職員の採用及び人事交流について

農地の荒廃について

～ 村民の声を行政へ ～

一般質問 令和5年第8回国頭村議会 (12月定例会)



# 令和5年第8回 定例会 (12月)

議案番号	件名	議案等の概要	結果
議案第63号	令和5年度国頭村一般会計補正予算(第6号)	276,610千円の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第64号	令和5年度国頭村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	4,738千円の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第65号	令和5年度国頭村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	762千円の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第67号	国頭村手数料徴収条例の一部を改正する条例について	戸籍法の改正に伴う一部改正	原案可決 (全会一致)
議案第68号	国頭村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	健康保険法等の一部改正に伴う改正	原案可決 (全会一致)
議案第69号	国頭村簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について	地方公営企業法の適用に伴う条例制定	原案可決 (全会一致)
議案第70号	国頭村簡易水道事業の剰余金の処分等に関する条例の制定について	地方公営企業法の適用に伴う条例制定	原案可決 (全会一致)
議案第71号	国頭村監査委員条例の一部を改正する条例について	地方公営企業法の適用に伴う条例の一部改正	原案可決 (全会一致)
議案第72号	国頭村簡易水道基金条例の一部を改正する条例について	地方公営企業法の適用に伴う条例の一部改正	原案可決 (全会一致)
議案第73号	国頭村簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例について	地方公営企業法の適用に伴う条例の一部改正	原案可決 (全会一致)
議案第74号	国頭球場膜屋根建築工事請負契約の変更について	今回変更による増額:12,849,100円 変更後の契約金額:221,915,100円	原案可決 (全会一致)
議案第75号	指定管理者の指定について(国頭村東部地区複合施設楚洲あさひの丘)	指定する団体:株式会社グリーンウェル国頭 指定の期間:令和6年4月1日から令和8年3月31日	原案可決 (全会一致)
議案第76号	比地地区農業基盤整備促進事業の承認について	比地地区農業基盤整備促進事業を執行するため	原案承認 (全会一致)
議案第77号	宇良ポンプ場電気設備工事請負契約について	契約の方法:指名競争入札 契約の金額:125,235,000円 契約の相手方:有限会社 沖縄小堀電機	原案可決 (全会一致)
議案第78号	国頭村児童公園遊具設置工事請負契約について	契約の方法:指名競争入札 契約の金額:124,124,000円 契約の相手方:有限会社 国栄建設	原案可決 (全会一致)
発議案第2号	国頭村議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	地方自治法の一部改正に伴う条例制定	原案可決 (全会一致)
意見書案第3号	米空軍横田基地所属CV22オスプレイ墜落事故に抗議し、原因究明・再発防止策が講じられるまでオスプレイ同機種の飛行停止を求める意見書	村民の生命・財産・安全・安心を守る立場から米軍及び関係当局に再度厳重に抗議する(3ページ全文掲載)	原案可決 (全会一致)
発議案第3号	米空軍横田基地所属CV22オスプレイ墜落事故に抗議し、原因究明・再発防止策が講じられるまでオスプレイ同機種の飛行停止を求める抗議決議	上段意見書に同じ(意見書と決議は宛先が異なる)	原案可決 (全会一致)

議案番号	件名	議案等の概要	結果
発議案第4号	世界自然遺産登録後の課題に関する要請決議	自然環境の保全を進める一方、人口減少・少子高齢化・経済活動の低迷が重要課題となっている。本村の課題解決に向けた取り組みが行われるよう執行部に求めるため。	原案可決 (全会一致)
報告第9号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定による報告	報告

## 令和6年第1回 臨時会 (2月)

議案番号	件名	議案等の概要	結果
議案第1号	令和5年度国頭村一般会計補正予算(第7号)	77,566千円の増額補正	原案可決 (全会一致)
議案第2号	安田くいなふれあい公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	安田くいなふれあい公園の運営体制の強化、運営の効率化及びサービス向上を図るため、料金改定の条例一部改正	原案可決 (全会一致)
議案第3号	マイクロバス車両購入業務売買契約の変更について	今回変更による増額: 1,847,080円 変更後の契約金額: 9,301,010円	原案可決 (全会一致)
報告第1号	議会の委任による専決処分の報告について(安波小学校改修工事請負契約の変更)	地方自治法第180条第2項の規定による報告	報告

### 米空軍横田基地所属CV22オスプレイの墜落事故に抗議し、原因究明・再発防止策が講じられるまでオスプレイ同機種の飛行停止を求める抗議決議

去る11月29日午後2時40分頃、米空軍横田基地所属CV22オスプレイ1機が鹿児島県屋久島沖で墜落し、搭乗員8人全員が死亡するという重大な事故が発生した。

今回の墜落事故は、一步間違えれば住民の生命と財産に重大な被害をもたらした可能性もあり、事故発生後も県内上空をMV22及びCMV22の構造的欠陥が疑われるオスプレイ同機種が飛行し続けていることは、住民の不安を増大し看過することはできない。

よって、本村議会は、住民の生命と財産を守る立場から、CV22オスプレイの墜落事故に抗議するとともに、下記の事項が速やかに実現されるよう強く要請する。

#### 記

- 1 事故原因が究明されるまで、CV22、MV22及びCMV22のオスプレイ同機種の飛行を停止すること。
- 2 事故原因を早期に究明しその結果を速やかに公表し、再発防止策を講ずること。
- 3 事故発生時には迅速かつ正確に、機体に関する危険性などの関係情報を 含め速やかに提供すること。
- 4 普天間飛行場の一日も早い返還を実現すること。
- 5 日米地位協定を抜本的に見直すこと。

以上、決議する。

令和5年12月19日

沖縄県国頭村議会

あて先 駐日米国大使 在日米軍司令官 在日米軍沖縄地域調整官 在日米国総領事  
意見書あて先 内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣



知花 正寛  
議員

**国頭村議会と国頭村観光物産センターとの情報交換会について**

**問** 10月31日に村議会と国頭村観光物産センターの意見交換会があり、店内の国頭村の特産品の展示が少ないので特産品加工施設の建設を提案したところ、金城茂社長からは非実現してほしいとの要請があった。村長の所見を伺う。

**答 知花靖 村長**  
加工施設の整備については、本村では以前から課題としてきたところである。今後、一括交付金を活用して農産加工施設の整備を計画する運びとなっており、今年度は、基本計画と基本設計、令和6年度は、実施設計と用地選定、令和7年度に施設建設、令和8年度から本格運用の予定としている。

**人口減少  
歯止め対策について**

**問** 9月定例議会で、村当局は「本村の実施する移住・定住施策や子育て政策等もまだまだ十分と言えません。全国の事例を参考に新たな施策を取り入れ、関係機関と連携し、引き続き人口減少に歯止めをかけられるよう施策を講じてまいります」と答弁した。その後の対応・進捗状況について伺う。

**答 村長**  
第2期人口ビジョンの目標値として1年で年間20名から25名の人口の純増を目指すとしており、これを実現する施策の一つとして、移住者等から相談が多い住居問題の解決が喫緊の課題と考えている。これまでの空き家活用事業に加え「空き家バンク」制度の導入により未利用家屋の利用に取り組み、移住者等の社会人口の増加につなげたいと考える。

**茨城県境町  
視察研修について**

**問** 維持費管理費ゼロで公共施設運営を行う「境町モデル」に

ついて境町では、施設運営を事業者に委託し、運営コストは業者が負担することで、これまで町の負担だった運営管理費はゼロ円に。また事業者から施設使用料をもらい受けることで、施設への投資を回収、町の負担を減らすだけでなく、「稼げる仕組み」を実現しました。令和3年度の境町モデル決算報告では12件の公共施設の施設利用料59,878,750円が町の収入となりました。本村の場合、村が巨額の事業費を投じて公共施設を建設して村が指定管理料を支払うということで投資の回収はままならず、財源確保の施策が全く見えていない。今後、境町モデルのような方式を採用して投資を回収して財源確保をすべきである。

**答 村長**  
境町モデルは参考になる取組だと感じており、境町モデルの導入に関しては、施設の目的を鑑みて検討していく必要があると考える。

**農地の荒廃について**

**問** 農業人口の高齢化に伴い、

県内の耕作地が徐々に減少している。併せて問題になっているのが放置された「荒廃農地」の増加である。沖縄県の耕地面積は1990年代初めに最大4万7,100ヘクタールとなったが、2021年には3万6,500ヘクタールまで減少し、荒廃農地は3,617ヘクタール。耕作につなげよう」と取り組み始めた自治体もある。本村における「荒廃農地」の現状と今後の解消に向けた取り組みについて伺う。

**答 村長**  
本村の農地の状況は令和4年度の調査において、全農地696ヘクタールの内、17.8%にあたる124ヘクタールが耕作放棄地となっており、3年前の令和元年度調査の21.8%から4ポイント改善している。沖縄県補助事業の耕作放棄地解消事業や村独自の耕作放棄地解消支援事業を積極的に進めてきた結果とみている。今後とも情報の把握に努め、関係機関と連携し、農地利用の最適化を進めてまいります。



渡口 直樹  
議員

ふるさと納税の推進による自主財源の確保を

**問** 本村における、ふるさと納税寄附額は2019年までの最高額となっており、直近の数年间は2億余りの寄附額となっている。しかし返礼品の品ぞろえが少ない等の課題があり、伸び悩みの状況となっている。そこで現状把握等についてはどのように情報収集を行っているのか伺う。また、そのような課題解決に向けて「国頭村ふるさと納税推進プロジェクトチーム設置要綱」が令和3年11月に制定され、令和4年度から施行されていると思うが、これまでの活動状況を伺う

**答** 知花靖 村長

寄附件数、寄附額の規模については、返礼品、お礼品業者、推進体制が大きく影響するものと考えている。そのため、返礼

品の数量確保や品目の充実を図るため、委託業者である物産センターと連携を密にし、情報を収集・共有しているところである。これらの取り組みを推進するため、プロジェクトチームを設置し、また、個別に関係課とも情報交換を行っているところである。現時点で、プロジェクトチームの活動実績はございませぬが、より広く情報を収集するためにも、早急に取り組みを進める。

**問** 本村の自主財源確保については、村税の徴収率向上・強化を図り、ネーミングライツ契約の拡充等、新たな財源を模索する中で、ふるさと納税による財源確保に向けた推進は重要だと思いが、今後の重点施策と位置づけ「ふるさと納税推進室」設置の考えはないか伺う。

**答** 村長

ふるさと納税の取り組みについては、関係部署との連携が非常に重要であり、今後はプロジェクトチームの活動と併せ、委託業者との連携も強化し、ふるさと納税の取り組みを推進する。また、ふるさと納税を推進

する部署についても、役場全体の体制を含めて検討する。



やんばるの大自然で大切に育てています。

国頭村ふるさと納税



農業振興整備計画の見直しは

**問** 農業振興地域（農振地域）

は一般的に農業の健全な発展と国土資源の合理的利用の観点から総合的に農業を図るべき地域となっている。農用地区域の土地は、圃場整備や農業近代施設整備の補助事業の対象になる反面、住宅や商業施設等が建設できないなどの土地利用に制限がかかる。そのため、おおむね5年ごとに基礎調査を行い、必要

に応じて土地利用等の見直しを行うこととなっているが、現状調査及び住民説明会等の計画はどうなっているのか伺う。

農業従事者の高齢化や後継者不足による農地の遊休化、農業従事者のニーズの多様化等の課題はあるものの農業を行いたい移住者の住宅施策と連携した取り組みが重要とされる。また、他産業と連携した特産品開発を進めるため、加工施設等用地の確保も求められることや本村の抱える住宅地及び商業地（ホテル誘致）公園整備や公共施設等の土地確保が喫緊の課題としている。そのことを踏まえ社会的背景や経済情勢の変化等を考慮した計画の見直しが重要だと思いが今後の方向性を伺う。

**答** 村長

本村における農業振興地域整備計画については昭和51年に当初計画を策定し今日までに4回の見直しを行い、平成29年1月に公告された計画が今日に至っており、見直しには基本調査や地権者と地域の意向確認等を行う必要があり、次年度から業務に着手し、令和8年度中の公告を目指して作業を進める。



与儀 一人  
議員

ふるさと納税について

国頭村をふるさととして応援しようとする個人、又は団体から広く寄附金を募り、それを財源として諸事業を行い、活力に満ちた地域づくりに資することを目的とするとのこと。

**問** 寄附金増額へ向けてのこれまでの取組、今後の目標額とそれに向けての戦略を伺う。

**答** 知花靖 村長  
返礼品の数量確保や返礼品目の充実を図り、安定的に寄附額を確保できるよう委託業者と連携し、取り組みを進めているところである。また、今年度から新たに「旅先納税」を開始し、ふるさと納税とあわせ増額へ向けた取り組みも導入し、今後の目標額については、具体的な数値目標を設定しておりませんが、委託業者である物産セン

ター、観光協会と連携し、地元産品、地元生産者を中心に返礼品の充実強化を図り、安定的な寄附額の確保に努める。

**問** 産業の振興に関する事業の内容と成果を伺う。

**答** 村長  
産業振興に関する事業については、今年度、特産品の販売促進や林業、水産業の振興補助金、耕作放棄地解消事業補助金等の9事業でふるさと納税を活用しており、農業、林業、水産業のそれぞれの分野で有効活用されている。

**問** ふるさと応援寄附（ふるさと納税）お礼品の状況を伺う。

**答** 村長  
お礼品の状況としては、ふるさと納税で38事業者、211品目を取り扱い、令和4年度実績で1万4,500件、その大半がマンガーとなっており、今年10月から開始した旅先納税では、35事業者、52店舗で実施され、10月の寄附額57万円、11月の寄附額55万円の計112万円となっている。

道の駅・やんばるパイナツブルの丘安波について

コロナ禍の影響下でのオープンとなり、想定していた事業が出来ず厳しい経営状況が続くとのことで、開業から満1年を経過し、当初の計画に対して入り込み数ベースで事業募集時の村試算（初年度訪問者数10万6,200人）に対して実績としては5万7,032人となり、約54%入場者数となった。

**問** オークツ株式会社・指定管理者令和4年度報告書（決算資料）について村長の所見を伺う。

**答** 村長  
開業初年度の施設運営に関しては、指定管理者であるオークツ株式会社から、コロナ禍の影響もあつたため広報宣伝や新規投資の事業開発は抑えつつ、施設運営の安定化を優先したとの報告を受けており、令和4年度の収入合計が約5千万円、支出合計が約5千8百万円でした。光熱水費や原材料費高騰の影響も続いているため、飲食メニューの改定や物販の新商品化等の対策を行う予定となっております。

り、グランピング事業においては、供用開始時期の遅れとその後天候不順や施設従業員・マンパワーの確保等の課題もあり、計画に対して減収となった。経営面への影響を抑えるために、縮小運用による経費節減を行い、運営上の課題や改善に向けた検討を行っている。本施設の特徴でもある研究受託事業についても引き続き実施予定とのことであり、本村としても地域課題の解決に向けて今後も指定管理者と連携し、より良い施設運営に取り組んでいく。

農家の所得向上の成果と将来の課題を伺う

**答** 村長

農業振興補助金や奨励金などを通して生産の安定化、生産量の増加に向けた支援を行いました。肥料や物価高騰、人材・労働力不足など農家をとりまく環境は常に厳しい状況である。県外や加工事業者等の多様な受注に対応するためには、農家と販売先、及び加工事業者とを結ぶ中間的役割を担う機関や仕組み作りが必要だと考える。



島袋 晴美  
議員

茨城県境町の研修を  
どう活かすか

**問** 「住みたくなるまち、住む人々が幸せになるまちづくり」を様々な補助事業費を活用し「好循環」の仕組みが構築されている境町の研修をどのように国頭村民へ還元していくか伺う

**答** 知花靖村長

道の駅同士の取り組みを通じ農作物の輸送販売など産業交流を実施、また姉妹都市盟約を締結した鳥取県岩美町との3町村でのイベント出店など広く交流を深めている。今後、境町とは姉妹都市盟約の締結を検討している。職員研修や人事交流など両町村の交流が可能になると考

**問** 今地域活性化に必要なものは、地域商社ではないか。これからの研修には民間で頑張る人も一緒に参加し官民が足並みをそろ

えて前進できるのではないかと  
**答** 宮里幸助 総務課長補佐  
目的が一致しているかというところであれば問題ないのかと思う。

役場職員の  
資質向上について

**問** 役場職員は仕事を円滑に遂行するため研修を受けていると思うがどんな研修を受けまた今後どのような研修が必要か伺う

**答** 村長

毎年度「国頭村職員研修計画」を定め新採用職員研修などの一般研修や法制執務研修などの特別研修を計画、市町村アカデミーへの派遣研修など幅広い研修が用意され希望する職員は受講できる。近年、民間の視点から行政運営を捉える視点も必要と考え令和3年度から沖縄県経営協会が実施する「かりゆし塾」への参加も研修計画に位置づけている。今後も様々な研修を計画し職員の資質向上を図り行政執行に反映させる。

子ども議会一般質問の  
ゴミ箱設置答弁について

**問** 子ども議会の中で一般質問されていたゴミ箱設置についてゴミ箱を設置しないという答弁があったがその真意を伺う

**答** 村長

ゴミ箱設置により通常のゴミ回収では扱えないゴミを不法投棄されてしまう可能性がある。新たにゴミ箱を設置することによって不法投棄等のゴミが減少するのは考えづらい。ゴミがゴミを呼ぶおそれがあるという意味合いである。

国頭中学校の生徒が本村のゴミ問題に関心を持つことは非常に良いと思う。本村としても海浜をきれいに保つことで魅力ある国頭村をPRしたい。

**議員意見**

地域の学生が主体となって自分の村の未来を自分ごととして考える機会、場所を行政からの呼び掛けを期待する。

エコスポレク公園内に  
居場所づくりを

**問** 以前から多目的の公園や運

動器具をといた話は出ていたか、村民の運動意欲の向上につなげる計画はあるのか伺う。

**答** 村長

エコスポレク公園の計画は地域住民の健康増進、競技力の向上、青少年の健全育成とスポーツキャンプ等の交流人口の増加による地域活性化を図ることを目的にスポーツレクリエーション施設整備が村民の強い要望として位置づけられた経緯がある。運動器具の整備については特段ない。村民の運動意欲の向上につなげる計画については、現在その位置づけはありませんが、必要に応じて今後検討したい。



散歩コースにある運動器具の一例  
(ストレッチベンチなど)



大田 孝佳  
議員

**国頭中学校環境整備は**

**問** 国頭村は中学校を統合し、村内に中学校1校となっている。少人数での中学校生活を過ごすより、学習面や部活動等この時期に必要な環境、生徒の将来のために地域との話し合いを重ねて、統合に至った経緯があると認識している。

10月25日の子ども議会で、部室の壁のひび割れや外れている鉄格子、トイレなどを修理し、生徒が充実した学校生活を送ることができるようにしてほしいという質問があった。その後の対応状況について伺う。

**答 宮城尚志 教育長**

現在、国頭中学校の部室の壁のコンクリート剝離部分については、ハンマーによる叩き落とし、また鉄格子については、金具で外れないように仮止めをして応急的な処置で対策を行って

いる。

現在、へき地の3校、小学校も含め、順次校舎の改修や改善を行っているところであり、今年だとへき地3校が今その対象になって進められている。

今回、国頭中学校に応急的に対策した部分や、必要な部分を含めての、今後予算費用を捻出しながら学校と調整し、全体を煮詰めて委員会の管轄する公的施設なども含めて、順次計画的に改修や改善に努めていきたいと思っている。

さらに、学校ですので、何よりも児童生徒の安全の確保に万全を期し、充実した学校生活を送れるように委員会のほうでも巡回しながら、視察しながら、順次必要に応じて改修などを施していきたいと考えている。

**問** 子どもたちは将来の国頭村を担う地域の宝だと思います。

子ども議員としての質問は、生徒間でしっかり話し、村長に対して行政に対する重要な意見だと私は思っています。予算措置について村長どうでしょうか。

**答 知花靖 村長**

先ほど教育長からもあったと

おり、学校教育、特に中学校は国頭中学校の1校となっているため、生徒がしっかり安全安心で学校生活を送れるように、いろんな課題、問題があり、そういったところについてはしっかりと予算措置等の対応をしてまいりたいと思っている。



国頭中学校生徒の活躍横断幕

**北国、佐手小学校廃校  
利用計画の進捗状況は**

**問** 令和5年7月の廃校跡地利用検討委員会先進地視察研修報告書に目を通し、報告書の総評で地域課題解決に向けてどの

ように廃校を活用していくべきか、議論が必要。またその際には、地域住民の廃校利活用に対する理解が不可欠であるため、何らかの形で住民の意見を集約する機会を設ける必要があると記載されているが、その後の進捗状況について伺う。

**答 村長**

廃校地跡地等利用については検討委員会を発足し、地域代表として佐手区、宜名真区、辺戸区の区長に参加していただいている。地域住民の意見集約方法については、区長から役員との意見交換を行う方法で希望があり、そこで宜名真区・辺戸区は11月17日に役員との意見交換会を合同で行い、宜名真区7名、辺戸区6名に参加をいただいた。佐手区については閉校式があったため、年内での開催は難しいとのことで、1月に開催する予定で調整を進めている。

利用方法等については、立地条件、施設の劣化状況等も考慮した上での判断となりますが、賃貸借方式や事業者責任で運営可能な利用方法を検討し、地域と共存できる施設を目指したいと考える。



山川 安雄  
議員

境町視察研修から国頭  
村の可能性を考える

境町との人事、経済交流を深化させ、経済の好循環、子育て環境、福祉のより充実化を目指し、移住定住促進につなげ人口減少解決のきっかけにしたい。一次産業の骨太化、6次化、観光の総合産業化、村民の所得向上につなげたい。この思いから以下の質問をする。

**問** 国頭村の魅力に追い風が吹いている。受け入れることができるのは役場でなく、スピード感ある民間商社だと考える。専門的な知識を持った地域商社の絵を描いた。Uターン・イターンにつながり、ふるさと納税10億円以上になる意味で描いた。この可能性を活かすために国頭ならではの地域商社の必要性を示すことは、行政や地域商社の役割が明確になり、双方に

メリットが生まれると考えるが、考え方を伺う。

**答** 知花靖村長

私も岩手県に廃校の跡地利用とまちづくりの研修に行きました。境町の公社とほぼやり方が似ており、そこは民間で、株式会社です。民間企業がどんどん投資し、その方がリーダーシップで街づくりをやっています。土地は町のもの、民間に賃貸して賃貸料が入る。宅地分譲も4戸くらい周りにあり全てこの株式会社が担っており、このような民間のノウハウ、民間の人材というのが非常に欲しい、大事ななどという考えがあります。当然行政とタイアップして何ができるのか。廃校問題、将来構想、ふるさと納税、しっかりと役場内部、あるいは我々職員も一緒に研究も進めていきたいと思う。

**問** 今回の公社発想は地域商社の考え方は、国頭村の未来に対する大きな方向性を示すものであり、ビジョンの話だと思ふ。村行政にやれることの限界も当然あると考える。国頭村は境町や他にない世界自然遺産、星空特区構想、他多くの資源がある。

それらを活かす出口戦略のスキームづくりをまずは企画政策課の中に村長特命事項として位置づけられないか伺う。

**答** 村長

準備室みたいな、特命事項ということですが、どういったことで、また役場のかぎられた人数の中で、今の組織の中でどういった形で検討できるのか考えていきたいと思う。

**問** 青山ファアーズマーケットからの拡がり、世界的雑誌エル・グルメ編集長の国頭取材、やんばるジェラート、日本かき水協会等、東京の1等地で展開している企業は国頭村の人含む地域資源に注目している。プロジェクトマネージャー登用から始まったことだ。この商社発想は村民の所得向上、ふるさと納税の税収大半アップ、行政のスリム化は村民サービスの充実化につながると考える。村長の決意を伺う。

**答** 村長

御提言ありがとうございます。私も来年の3月に村長選挙も控えているところでですね、今後選挙公

約を出していくので、そのあたりでしっかりと今の内容についても盛り込めるのか、私は正直言って前向きに進めたいと思っているので、それで御理解をお願いしたい。

選挙公約については、年明けの来月に出そうと考えているので、その内容についてしっかりと関係者とも勉強会なり話し合いをしながらやっていきたいと思っている。

**議員意見**

一次産業の骨太化、6次化、観光の総合産業化、村民の所得向上につなげる「できないではなく、どうすればできるか国頭村」を考えよう。

共同店 集落支援員を  
配置することは可能か

**答** 前田浩也 商工観光課長

集落支援員の配置は、今、村の中では計画はないのですが、今後8つの共同売店が存続していく中で、本当に集落支援員が必要かというところの議論はやるべきかと思っている。



山城 正和  
議員

**辺野喜1号林道の調査委託業務の進捗及び次年度災害復旧計画について**

**問** 令和5年度一般会計当初予算の林業振興費3百万円が計上された。辺野喜1号林道調査委託業務の進捗と次年度災害復旧計画の方針について伺う

**答** 知花靖 村長

辺野喜1号林道調査業務については、令和5年12月7日に入札を行い、調査委託事業所が決定したところである。履行期限は令和6年3月初旬を予定しており、その結果を踏まえ、今後の方針を検討していく。

**学校跡地権利者調査業務委託料の進捗状況及び次年度学校敷地の未登記の解消問題の取組について**

**問** 現年度の取組現況と次年度以降の学校敷地の未登記の解

消問題の計画的な取組の方針を伺う

**答** 村長

次年度以降、本業務の調査結果を基に権限の取得が可能であるか精査し、佐手区と調整をしながら進める。また、その他の未取得地解消の取組については、旧北国小学校の敷地で未取得であった1筆の権限を取得したことで、本敷地に関しては全て完了したところであり、その他の学校敷地用地の未取得地については、今回の調査結果等を参考にした上で、取組方針を検討していきたいと考えている。

**比地大滝キャンプ場の管理棟「比地大滝カフェ」管理運営の改善の成果について**

**問** 令和4年9月20日の一般質問では、比地大滝カフェ管理

運営の改善について取り上げましたが、その後の指定管理者、国頭村観光物産株式会社、比地区、役場との協議内容等に基づき、どのような課題の解決や改善の取組の成果が出ているか伺う

**答** 村長

昨年9月に比地区長、国頭村観光物産株式会社社長、支配人の間で比地大滝カフェ運営について協議し、比地区の代議員会の協議を経て、令和4年11月に比地区長から国頭村観光物産株式会社へ比地大滝カフェの運営について現状と今後について回答がなされている。

回答としては、土曜日のみ営業から土日営業とする、ハイシーズン（夏休み・連休等）は、土日以外も営業を検討するとなっており、昨年9月以降土曜日と日曜日の営業を実施しており、少しずつではあります改善している状況であると考える。しかしながら、週末営業の状況が続いていることから、平日営業の実施など改善する余地があると考えられることから、国頭村観光物産株式会社と比地区と協議を進め、改善に向けて連携を図っていきたいと考える。

**職員の採用及び人事交流について**

**問** これまでの職員の実務研修派遣や他機関からの出向など、

人事交流に対する評価と今後の人材育成の取組と職員の採用における応募募集要項や試験競争率の現況など、職員採用に当たった課題や改善すべきことなどについて伺う。

**答** 村長

職員の派遣や受入れについては、広域等への派遣を除き、県への出向2件、県からの受入れ2件、環境省からの受入れ1件となっており、職員の派遣・受入れや人事交流については、派遣目的や業務内容など派遣先の意向もことから十分協議の上、検討をしていきたいと思う。

職員採用については、近年、受験者数が減少傾向にあることから、今年度より実施要領の年齢要件を「29歳」から「35歳」に引き上げたところであり、競争率については、過去3年間の平均で2・57倍となっている。

今日では、人材確保が大きな課題となっており、職員採用に当たっては、今回の年齢要件の引上げだけではなく、その他の要件についても時代の変化に合わせて対応する必要があると考える。

# 議会県外行政視察研修報告

**調査期間:** 令和5年10月10日(火)～13日(金)

**調査場所:** 茨城県境町・かすみがうら市

**研修内容:** ①さかいまちづくり公社並びに境町のふるさと納税について  
②かすみがうら市の廃校施設利活用について

## ① 株式会社さかいまちづくり公社

経営戦略として各専門分野のプロを配属し組織の強化を図り、特にふるさと納税寄付額が今年度60億円を突破していることもあり、出口戦略のカギを握る「ふるさと納税委託事業」を中心に展開している。返礼品を含めた特産品研究に力を入れ、干し芋やワインなど様々な6次産業化を推進している。さらに先を見据えた取り組みとして自動運転バスや企業誘致などを含む「地域商社」としての事業展開がなされていた。



## ② かすみがうら市の廃校施設利活用について

現地視察した旧佐賀小跡地については校舎・体育館は老朽化により使用されておらず、運動場を活用してキャンプ施設を中心とした事業を行っており、賃借料を市へ支払っている。廃校利活用は十分な調査と地域住民説明を実施し、理解と協力を得ることが重要である。



### むすびに

今回の視察研修において、借金を増やさない新しい公共施設や維持管理費ゼロ円の公共投資を行う「境町モデル」の確立やさかいまちづくり公社での事業展開など目標達成に対するスピード感や実行力で町政発展の成果を着実に築き上げていることが実感できた。さかいまちづくり公社の考え方は国頭村にも多くの示唆を頂きました。今後、国頭村の豊さを見直し、経済の好循環、子育て環境、福祉の充実化を目指し移住定住につなげ人口減少解決のきっかけにしたい。できないではなく、どうすればできるのかを考えていきたい。



# 令和5年 村政功労者表彰

## 金城幸男氏・宮城千賀子氏



金城幸男氏 宮城千賀子氏

平成22年9月に国頭村議会議員初当選以来、3期12年の永きにわたり在職し地方自治の振興発展に尽力した功績はきわめて多大であるとして、知花靖村長より令和5年12月22日付けで表彰されました。

### 議会傍聴へのおさそい

村議会は3月・6月・9月・12月と年4回の定例議会が開催されます。3月定例会は3月8日(金)開会予定です。日程が決まり次第、ホームページでお知らせいたします。  
※役場1階ロビーのテレビでも議会を視聴することができます。

### 一般質問の内容は

一般質問通告書の質問・答弁を基本に(会議録に基づき)各議員でまとめ、議会広報委員会が確認したものを掲載しています。

## ゆんたく さびら



桃原区の「ムーチー」祈願の様子

### 「ムーチー」今年は暑かった〜☀

沖縄で寒い季節に行う行事と言えば、ムーチー(鬼餅)ですよね。

毎年旧暦の12月8日に行われ、この頃から寒さが厳しくなる事で「ムーチーヒーサー」と言われ漢字では「鬼餅寒」と書くそう。今でも各家庭などで作られ、楽しく現代につながる沖縄の旧暦行事のひとつです。また、赤ちゃんが産まれた後、初めて迎えるムーチーを「初ムーチー」と呼び子どもの健康と無病息災を願い、親戚や近所に配布する地域もあるそうです。私の住む桃原区では、各家庭から集めたムーチーをお供えし、4ヶ所の拜所で子どもの健やかな成長を願う。また、部落入口の「三角マー」3ヶ所で外から災が入ってこない事を祈ります。

渡口 直樹